資料２

山陽バス　協議事項

【内容】

・運賃改定の実施について

【対象路線】

・二見線（70、71、72系統）

2021(R3)年1月27日

山陽バス株式会社

運賃改定の経緯・理由について

・二見線については、2006(H18)年10月に明石市交通部からの路線移譲により運行を開始して以降、消費税率引上げに伴う運賃改定を除き、運賃を約15年間据え置いた状況となっております。

・山陽バスでは、今後も安全・安心・快適な輸送を確保するとともに、乗合バス事業の経営の健全化を図ることを目的として、運賃改定の実施を予定しております。

運賃改定の推移について

2006(H18)年10月1日

明石市交通部からの路線移譲により二見線運行開始

2019(R1)年10月1日

消費税率改定(8%→10%)に伴う運賃改定

時期	基準賃率	運賃
2006(H18)年10月 ～2019(R1)年9月	44円10銭	JR土山駅南口～人工島内各停留所間　220円 その他の停留所間(初乗り)　180円
2019(R1)年10月 ～現在	44円90銭	JR土山駅南口～人工島内各停留所間　230円 その他の停留所間(初乗り)　190円

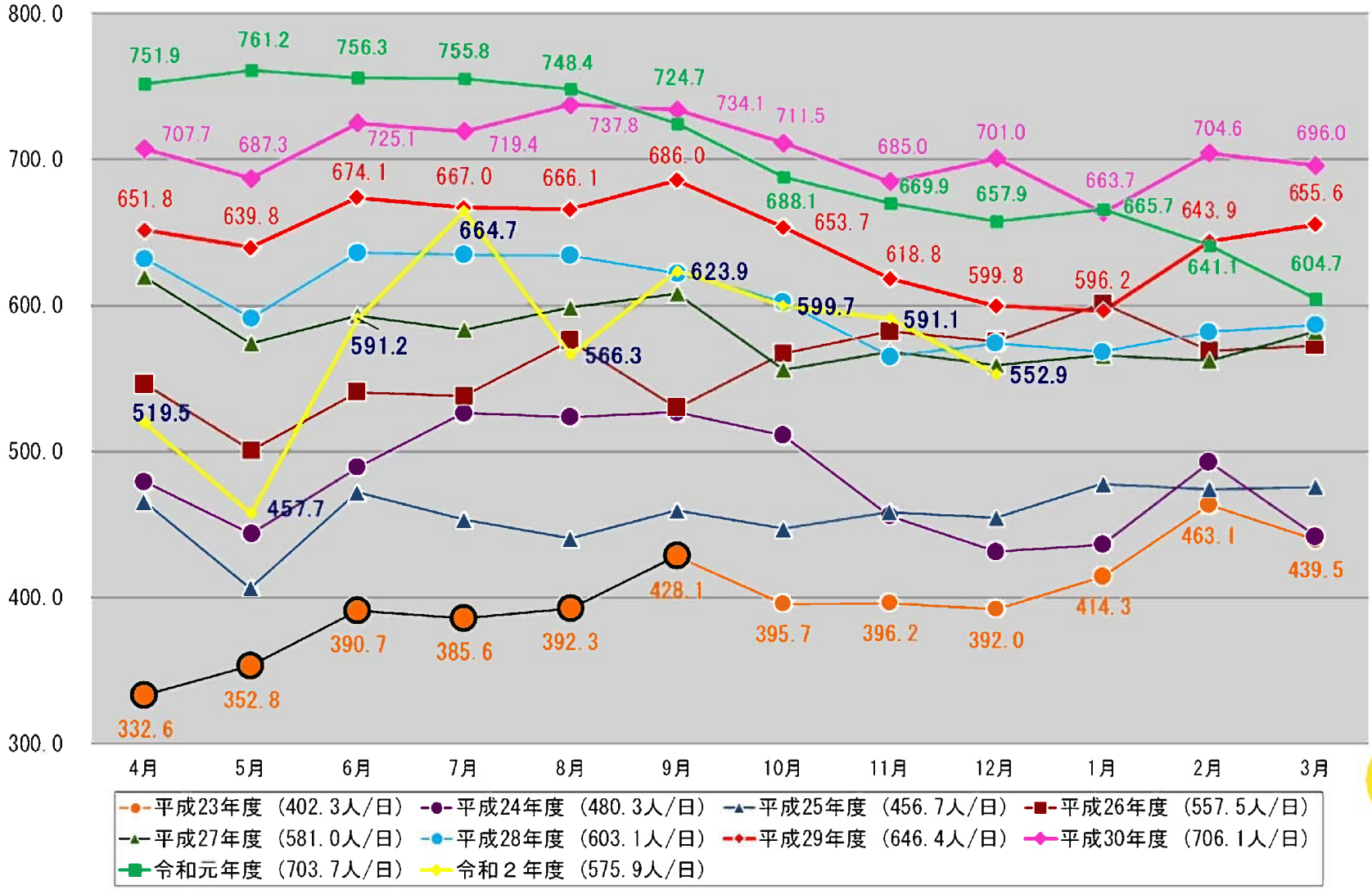
※2014(H26)年4月の消費税率改定(5%→8%)の際は、増収率調整のため据え置き

※基準賃率：1km当たりの運賃

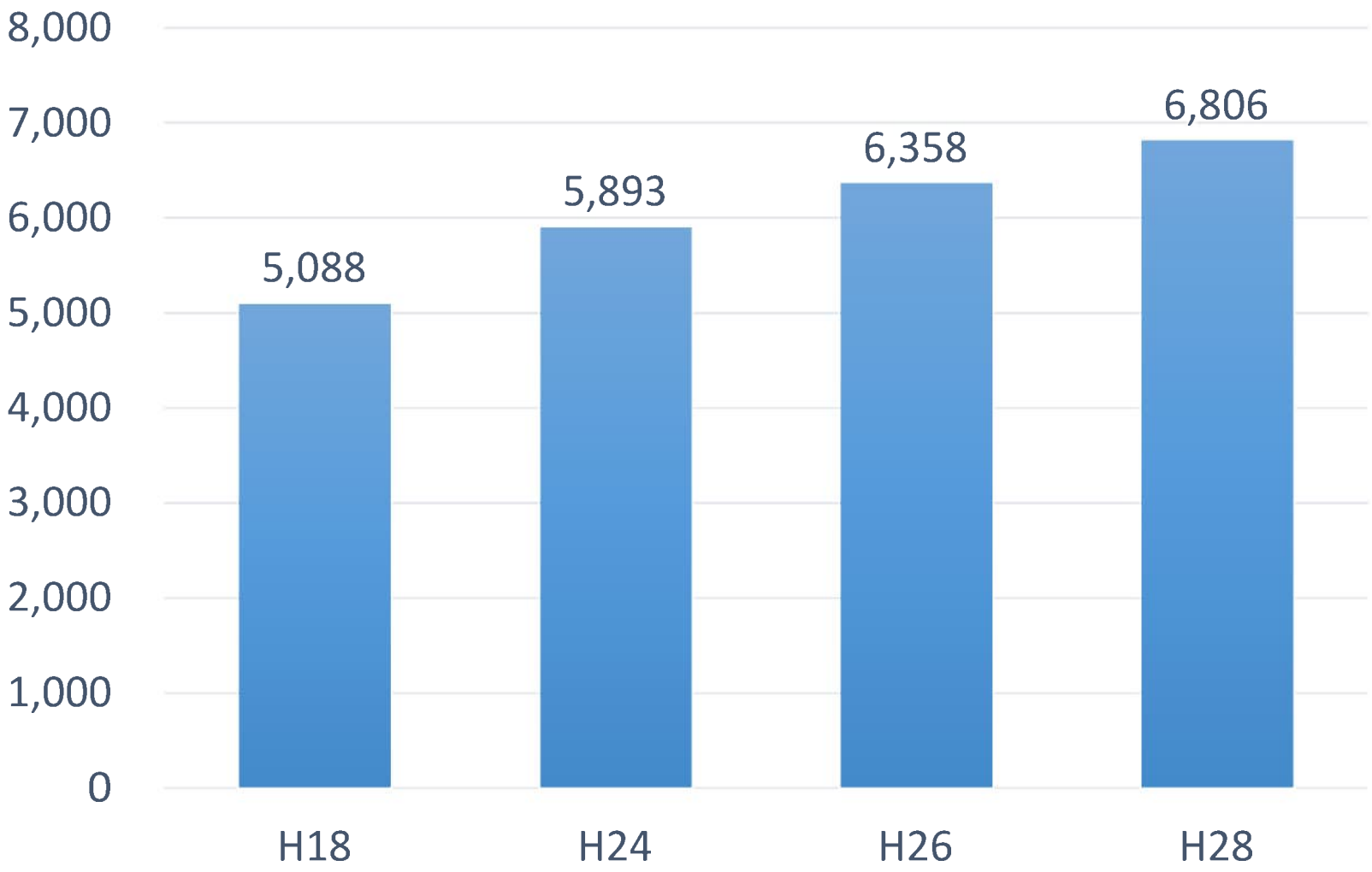
主な取組経過について

2006(H18)年10月　山陽バス二見線運行開始
2011(H23)年 4月　エコ通勤＆増便社会実験
2012(H24)年10月　運行車両変更
（中型4 ⇒ 大型2、中型2）
2013(H25)年 4月　南二見会館でバスカード販売開始
2014(H26)年 4月　運行車両変更
（大型2、中型2 ⇒ 大型3、中型1）
2015(H27)年 4月　運行車両変更
（大型3、中型1 ⇒ 大型4）
2016(H28)年 7月　昼間増便実証実験

利用者数の推移について



南二見従業員数の推移について

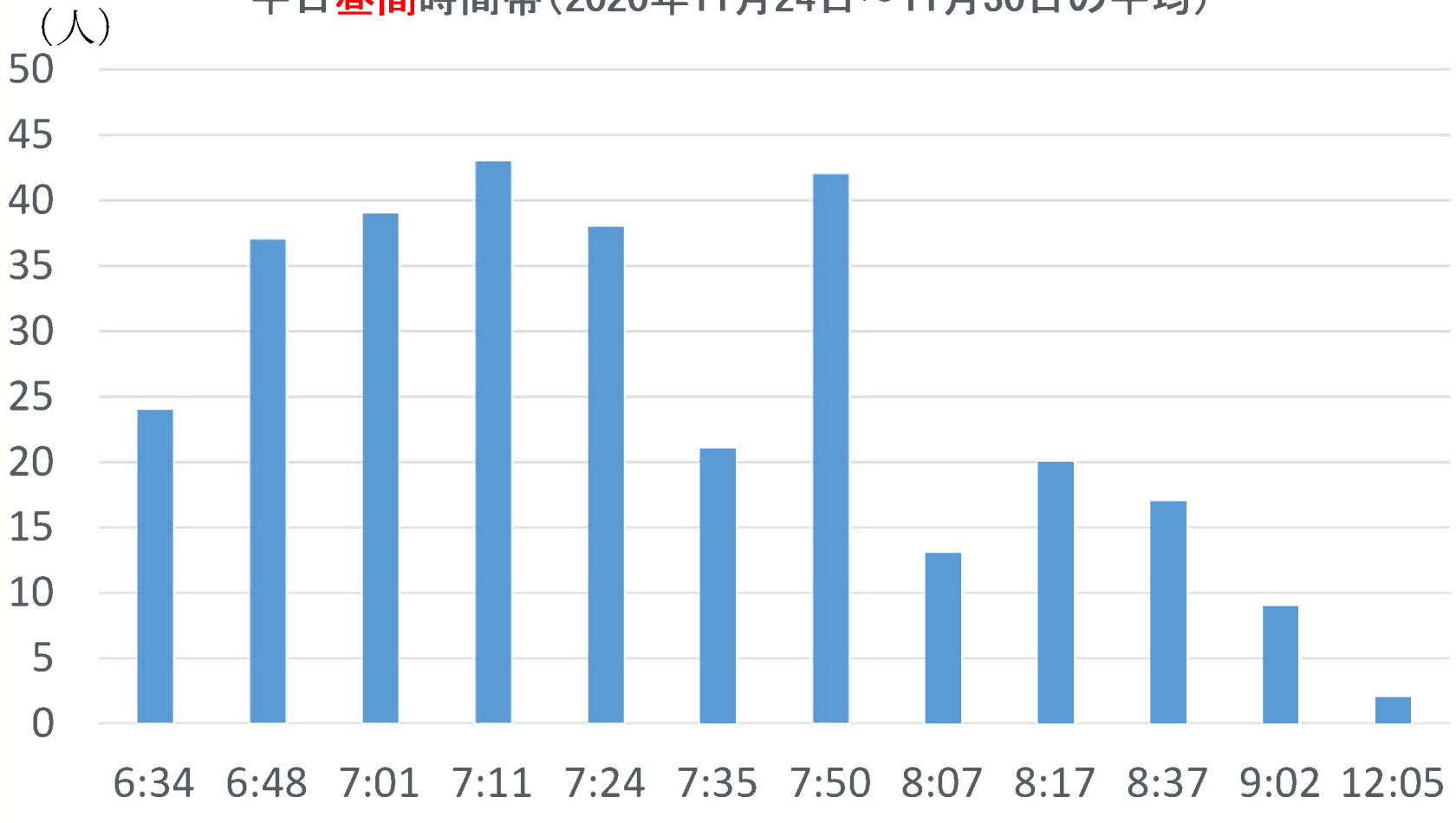


ご利用状況について

・二見線においては、沿線企業皆さまのエコ通勤ご協力により、利用者数は増加傾向にあります。
・当社としても、運行開始以降、ICカードシステムPiTaPaおよびICOCAの導入、ノンステップバスの導入、バスロケーションシステムの導入等のサービス向上施策に取り組んでまいりました。
・沿線企業さまを訪問し、頂戴したご意見ご要望を参考にして、定期的にダイヤ改正を実施しております。

ご利用状況の詳細について①

平日昼間時間帯（2020年11月24日～11月30日の平均）

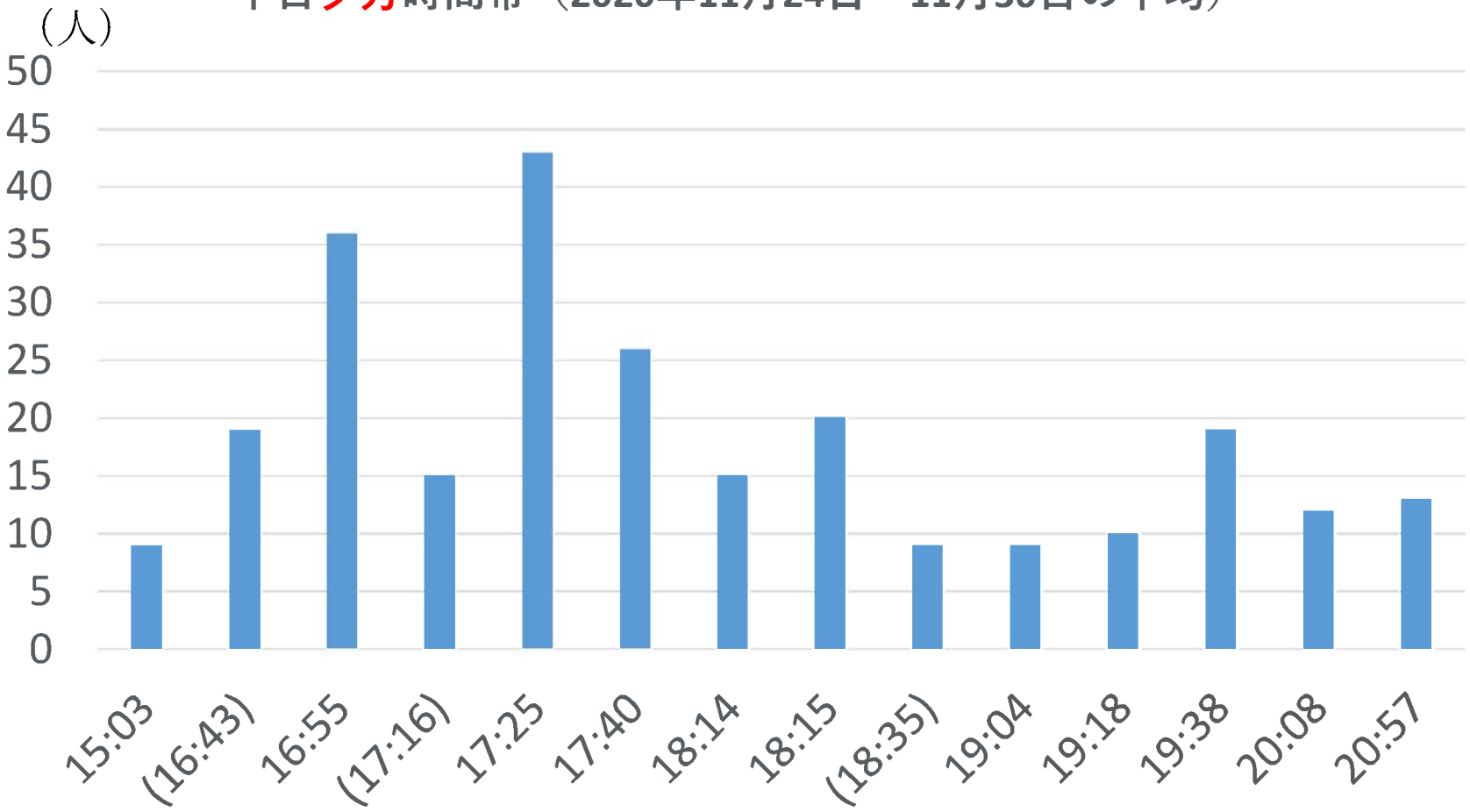


JR土山駅南口発車時刻

SANYO 山陽バス

ご利用状況の詳細について②

平日夕方時間帯（2020年11月24日～11月30日の平均）



JR土山駅南口（山陽西二見駅）発車時刻　※18:15は南二見21番始発

SANYO 山陽バス

収支状況について

・利用者数は増加傾向にありますが、二見線の運行においては、車庫（垂水区）と営業エリア（明石市西部）が離れているため、非効率な運用となっており、慢性的に約1,000万円の赤字を計上しています。

（単位：千円）	2017年度	2018年度	2019年度
収　入	31,830	35,293	34,208
費　用	42,837	44,428	44,873
収　支	▲　11,007	▲　9,135	▲　10,665

新型コロナウイルスによる影響について

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社を取り巻く経営環境の悪化が加速し、事業存続が危ぶまれる状況に陥っています。

・路線バスでの利用者減に伴う収入減に加え、貸切バスおよび旅行業での収入が大幅に減少しています。

・特に、緊急事態宣言期間中（2020年4～5月）の収入減による影響は大きく、今年度決算は大幅な赤字を計上見込みです。

経費削減の取組実績について

2020年4月

・明石市コミュニティバス「たこバス」運行事業者から撤退

・昼間高速バス「学園都市～洲本線」から撤退

・夜間高速バス「神戸・大阪・京都～東京線」運休

（新型コロナウイルスの影響により現在も運休中）

2020年11月

・昼間高速バス「垂水区内～三宮線」の減便

（神戸空港等、一部停留所の休止も実施）

経費削減の取組計画について

・効率的なダイヤの編成【2021年4月実施予定】
運行費用削減のため、ご利用状況に応じた適正な運行ダイヤを設定いたします。

・71系統の運行休止【2021年4月実施予定】
山陽東二見駅を経由する71系統についてはご利用者が特に少ない状況が続いているため、次回ダイヤ改正に伴い、運行を休止いたします。

71系統の運行休止について

- 運行本数：1本／日（平日のみ運行）
- 山陽東二見駅を経由
- 71系統を休止し、他の運行便と同じ経路（JR土山駅南口～山陽西二見駅～人工島）とすることで速達性の向上を図ります。

SANYO 山陽バス

利便性向上の取組計画について

・ICカード全国相互利用対応【2021年3月実施予定】
機器更新により、現在利用可能なICOCA・PiTaPaに加えて、Suica等の交通系ICカードが利用可能となります。ICカードの処理速度も向上します。

・ポイントサービスの開始【2021年4月実施予定】
お得な乗車サービスとして、ICカードを用いたポイントサービスを導入いたします。

路線維持に向けて

・二見線は人工島内企業皆さまの通勤の足としてご利用いただいており、路線休止は避けたいと考えております。

・しかしながら、路線を取り巻く環境は厳しく、今後も輸送人員の大幅な増加は見込めない状況です。

・弊社として経費削減努力を続けることは当然ですが、安全、安心、快適な輸送を確保し、サービス水準を維持するため、運賃改定の実施を検討しております。

運賃改定の概要について【案】

普通運賃

JR土山駅南口・西二見岡の上～人工島内各停留所間
　現行230円　⇒　改定後280円（＋50円）

その他の停留所間
　現行190円　⇒　改定後230円（＋40円）

※運賃設定にあたっては、同じJR土山駅南口を発着し、播磨町新島を運行している
　神姫バス32系統を参考としております。

運賃改定の概要について【案】

定期運賃

現行	通勤1か月	通勤3か月	通勤6か月	通学1か月	通学3か月
230円区間	9,660円	27,530円	52,160円	8,280円	23,600円
190円区間	7.980円	22,740円	43,090円	6,840円	19,490円

改定後	通勤1か月	通勤3か月	通勤6か月	通学1か月	通学3か月
280円区間	11,760円	33,520円	63,500円	10,080円	28,730円
230円区間	9,660円	27,530円	52,160円	8,280円	23,600円

※定期券の割引率については現行と変更ありません。

収支改善効果について

・運賃改定により、約600万円の増収が見込まれますが、黒字転換のためには、1日あたり50～60名のご利用増が必要となります。

・さらなる経費削減を進めるとともに、継続して利用促進を行い、赤字解消に向けて努めてまいります。

・この度の運賃改定について、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

スケジュールについて

2020(R2)年

12月8日　二見臨海工業団地企業連絡協議会 理事会

2021(R3)年

1月13日　二見臨海工業団地企業連絡協議会 総会

1月27日　明石市地域公共交通会議 【本日】

協議が調い次第、近畿運輸局に運賃設定届出書提出

利用者向けPR開始

3月1日　運賃改定実施（予定）

運賃改定後も、ご利用状況改善に向け、

利用促進の取組みを継続してまいります

参考：JR土山駅南口を発着するバス運賃

SANYO 山陽バス